



# 九条はらまち

福島県「はらまち九条の会」会報 No.267

2015(平成27)年7月19日(日)発行 新国立のように、

人命吐

●昔から漢字には俗説や自分勝手に解釈する風潮があります。「人という字は…」や、「命」を「人の心臓を叩く」とか、「明」は「日と月で明るい」とか、「吐」は「口からプラスとマイナス、マイナスを無くせば夢が叶う」など全くのこじつけで、「日は窓のことで、窓から月の光が射して明るい」という意味。●漢字一つひとつ、学者たちの数千年に及ぶ身を削る研究を無視。●どこか政府与党の手前勝手な憲法解釈に似ています。

民意です!

## 民意無視の「安保・戦争法案」が衆議院通過

### あきらめないで無謀な「アベ政治を許さない」の意思表示を!

### 「新国立競技場の見直し」のように、撤回、廃案に追い込みましょう

連日腹立たしい国会のニュースが伝わってきて、耳をおおいたくなります。

会員の皆さんの声や、事務局員の意見など、バラバラですがひろってみました。



■安倍さんの奥さんや、自民党議員の家族はどう思っているのかな?

■安倍さんに異論を唱える自民・公明党議員は数人だけ。情けない。

■デモなど民放では随分放送したが、NHKではほとんど無視している。本当にひどい。なにが公共放送だ。「アベ放送局」と名前を変えるべきだ。

■「60日ルール」を持ち出して、どこまでもずるい自民党。

■どうしてこんなにアメリカのために頑張るのか、何かウラがあるのか。

■新国立競技場問題は目眩ました。「1ヶ月前に再検討していた」と安倍首相は言うが、榊添知事は「じゃ6月29日になぜ政府案を決定したのか」と批判。「汚染水はコントロールされている」と世界にウソを言って五輪を誘致したのだから、国民を騙すことも、支持率が下がっても平気です。何でもすぐに忘れる国民性を政府はちゃんと計算済みですね。

▲澤地久枝さんの提案。

俳人金子兜太さん書。

7月18日以降もずっと掲げておきましょう。

■女性や若者、学生が国会周辺でも、地方都市でもデモを起こし、参加者も多くなっていて希望が持てます。あきらめは負け、活動を続けましょう。

一方、政府与党の暴挙に対して、我が南相馬市では……

「不戦を誓った憲法9条を破壊」という市民団体からの陳情で

## 南相馬市議会「安保法案廃案へ意見書」可決

○南相馬市議会6月定例会は7月2日、市民団体の陳情を受け、安倍内閣が5月に閣議決定した、国際平和支援法案と平和安全法制整備法案(安保法案・戦争法案)の廃案を求める国への意見書を可決しました。○意見書はこの2法案を「歴代の自民党政権が憲法上できないとしてきたことをあっさり踏み越え、アジアと世界に不戦を誓った憲法9条を立法によって破壊し、戦後日本の国の在り方を根底から覆すものと言わざるを得ない」と批判、「廃案にするよう強く要請する」としています。○市議会議員で反対は、公明党と保守系会派の2人でした。○一方7月1日、福島県議会はこの「安保法案反対の意見書」を否決しています。震災後も国や政府に盲従する「福島県」ならではのこです。

しかし、南相馬市議会は、「大震災でお世話になった自衛隊員の命を守れ」と、昨年から、

①2014年6月19日「集団的自衛権行使容認に反対の意見書」を可決、

②今2015年3月25日「脱原発都市宣言」を表明、

③6月全市全戸に『憲法・小冊子』配布決定、

そして今回、④「安保法案廃案へ意見書」可決など、次々勇気ある決議を行っています。

